

平成25年度第5回松山地域協議会議事録

日 時	平成26年2月18日(火) 午後13時30分～15:45	
場 所	松嶺コミュニティセンター講堂	
出席委員	15名	
1号委員	小野 與一、志田 節子、富樫 茂、難波 きみ子、 後藤 吉史、齋藤 壽子、池田 重悦、佐藤 玲子、 富樫 一行、門脇 秀行、遠藤 俊三、村山 安子、 佐藤 正信	
2号委員	白旗 泉	
3号委員	日野 健吾	
酒田市出席者	松山総合支所長	池田 成男
	学区改編推進室長	大沼 康浩
	地域振興課長	秋葉 弘毅
	建設産業課長	大淵 洋
	市民福祉課長補佐	佐藤 敏行
	地域振興課長補佐	佐藤 均
	地域振興課主査	石川 亮一
	地域振興課調整主任	石川 春市
欠席委員	なし	
傍聴者	4名	

議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事録著名委員の選出
- 4 議 事
 - (1) 松山地域における事業計画等(案)について
 - (2) 平成26年度松山地域づくり事業(案)について
 - (3) 平成26年度行政組織機構の見直しについて
 - (4) 3小学校の統合について
 - (5) その他
- 5 その他
- 6 閉 会

1. 開 会

佐 藤 委員の皆さん全員揃われましたので、ただ今から平成25年度第5回松山地域協議会を開催いたします。本日の会議につきましては、概ね2時間程度を目途としておりますのでよろしくお願いいたします。門協会長よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

門 協 会 長 今日はお忙しい中、また寒い日々が続いている最中、第5回松山地域協議会に出席いただきましてありがとうございます。

先週から日本列島周辺で発達した南岸低気圧の到来によって、首都圏、東京はじめ東北、北海道にかけて大雪による交通まひがあつて、交通機関の運休・交通止め等が相次いでいる状況です。降雪による崩壊、建物倒壊の災害復旧に作業している地域もあるようです。今月も残すところあと10日になりますが、この寒さはもう少し続くのかなと自分なりに安じているところです。

さて、今回も協議するにあたって、主な資料等を送付して内容を検討していただいておりますので、議事にあります平成26年度松山地区の事業計画予算案・地域づくり事業等について考えていただいて、酒田市の関係部署に上申したいと考えておりますのでご審議をよろしくお願いいたします。

3. 議事録署名委員の選出

佐 藤 議事録署名委員につきましては、地域協議会設置条例施行規則第5条及び申し合わせ事項によりまして、今回は日野健吾委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

「異議なし」の声

佐 藤 それでは、日野健吾委員に議事録署名委員をお願いしたいと思います。議事につきましては、協議会設置条例第6条第2項の規定によりまして、門協会長から議長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 議 事

(1) 3小学校の統合について

門 協 会 長 では、協議に入らせていただきます。初めに今日は酒田市教育委員会からお出で頂いておりますので、次第(1)の「3小学校の統合について」を議題として教育委員会の方からお話を願います。

大 沼 室 長 教育委員会管理課の大沼と申します。よろしくお願いいたします。皆さんからは、松山の3小学校統合についてお集まりいただきましてありがとうございます。また、何名かの方に東部中学校の統合準備委員会でもご協力をいただきましてありがとうございます。それでは、私のほうから、前回12月4日

の松山地域協議会までの状況を報告した後の報告をしたいと思います。昨年
の12月26日、この会場で48名の方にご参加いただきまして、統合に関
する懇談会を開催しました。その主な意見をご紹介します。

資料左下、活断層について、「地図に示されたものは推定である。特定でき
ないのであれば、松山小学校のところも危険と言わざるを得ないのではない
か。」そういった意見をいただきまして、里仁館及び松山小学校の安全性に
対するご懸念・ご意見をいただいております。

次に、松山小学校に決まったとして、という前置きの話ですけれども、建
設中の重機関係、登下校時の通学路の危険性といったことを非常に心配する
意見が出されまして「松山小学校の工事や通学路の危険性、駐車場の確保は
できるのか。」という意見でございます。そういう意見に対してだと思いま
すが、「松山小学校はこれまでは交通事故はなかった。絶対に安全とは言
えないが努力で頑張ってきた。松山小学校でよいのではないか。」そうい
ったご意見もいただいております。 その下も同じで、道路については「スク
ールバス対応、裏の道路は広いからスクールバスが入れる道路を考えると、そ
ういった意味では松山小学校がよいのではないか。」

というご意見です。 左下のほうは、「やはり中心地区は松嶺地区であるか
ら、その同じ場所に建てるとなると、ますます人口減少が加速するのでは
ないか。個別の場所ではないが松嶺地区に学校を造ったらいいのではないか。」
という意見もございました。

それから右のほうですが、これはいろんなご意見を紹介いただいた後に、
皆さんがよければということをお心に銘じて、教育委員会の意見を反映させて
の意見だと思いますが、場所は松嶺コミュニティ振興会と同じ、意見として
は、「支所周辺に新築を建てる。」というご意見もございました。

それから、これは浜田小学校の例を挙げて、「少ない学級がありながら新し
い学校を建てた」といった意見でした。あえて反論はしませんでした。当
時、浜田小学校は10人・20人を割るクラスがあって、平成30年度には
200人を超える学校ですので小さい学校には当たらないのですが、浜田小
学校の例を挙げまして「松山小学校にも新しい小学校を要望する。」、話の
中身からして、やはり「支所周辺に移転新築。」といった意見もございま
した。

里仁館に関して、「里仁館は松山のシンボルだ。里仁館に関して活断層の
説明があったが、それは確かなものではないのではないか。里仁館のほうに
小学校をもってきてほしい。」こういった意見もございます。

それから児童の小規模化「統合してもまた減っていくのではないか、それ
であれば、新たに費用をかけるのではなくて既存の小学校を、具体的には内
郷小学校を使って欲しい。」といった意見もございます。

下二つは移転の承知についてですが、「地域協議会や商業団体、コミュニティ振興会等の他の団体も交えて再度検討してほしい。という意見もございました。最後、「遠いという理由だけで内郷小学校を候補から外すというのではなく、住民の意見を再度確かめてほしい。内郷小学校に要望する。そのためにも地域住民の意見も聞いていただきたい。」という、ご意見もございました。

前回ここで懇談会を終了したあとに、支所の会議室に移動しまして教育委員の方々からも率直な意見をいただきました。この会議に臨むにあたって、最初に、今日で懇談会を閉めさせて頂いて、決定してもよろしいかと問いかけを教育委員長のほうから皆さんに行いました。その中で、教育委員長のほうからは、12月26日をもって意見聴取を止めるというのはまだできない、今の段階では教育委員会として判断することはできないと述べられ、教育委員のほうでもそれに同意いたしました。なお、統合校の場所については引き続き検討していく、12月26日までのご意見を集約しまして1月頃には決定するということができないとの結論に至っております。この件については、今後も皆さんと協議を続けていきたいという結論できております。

下のほうに、これまで教育委員会のほうからの説明、発言を抜粋しています。こういった内容は変わっていくことはありませんが、改めて申し上げますと、教育委員会としては、これは決定ではございません、提案ですけれども、松山小学校を統合校としたいと意見を持っております。その中で皆さんが良ければどこでもいいですよと、会議の中で申し上げましたけれども、内郷小学校、地見興屋小学校、松山小学校、この3つの中でどこでもいいですよ、という趣旨の発言をしております。

里仁館に対しては市有地ではない、松山中学校はプールや学校の坂という課題があって、一時的ならともかく、恒久的な学校としては選択できない、そのような旨の説明をしております。

移転新築という件については、用地の問題、費用、開校までの期間等があり、なかなか選択できないということを申し上げております。今までは移転新築ということは考えておりませんでしたので、土地に関しては教育委員会のほうでも調べておりませんでした。松山地域の平らなところというと田んぼのところになりますが、最上川下流沿岸地域国営排水事業ということでもあり、農業担当部署に聞いたところでは、平成5年から平成25年まで、つまり今年までの20年事業で来年完了告示をする予定になっているそうです。完了告示後八年間は除外と、かなりハードルが高いと聞いております。こういった状況が、移転新築の意見が出る中で判明しております。

最後に教育長からは、皆さんでそれぞれの立場で保護者の方と相談をして、自分たちで決めたと、そう言って頂けると大変ありがたいと意見を述べられ

ております。前回地域協議会でお話した以降、新たな提案はできないわけですが、結論としては前回をもって教育委員会で、決定するそういったところまでは決まっていないということを報告させていただきます。

中学校の件でひとつ報告がございます。統合準備委員会はすべて終了いたしました。地域協議会の委員の皆様には、松山中学校の閉校式に関しまして、届いているか又は返事を出されたかかもしれませんが、御案内状を出させていただきました。3月21日の昼、祭日ですがぜひ閉校式にご出席していただければと思います。以上につきまして、ご報告させていただきます。

門 脇 会 長 はい、ありがとうございます。ただ今の報告につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見はありませんか。小野委員お願いします。

小 野 委 員 私は12月26日の「統合に関する懇談会」に出席させていただきました。先般は地域協議会に出席できなかったのですが、新教育委員長が就任、また教育委員が1名交代・就任ということでした。統合場所については一から考えたいということが地域協議会の議事録に残っていました。そのため、私は新規に建設できる、また、新規に建設した場合、どのような形でシュミレーションしていただけるかを再三申し上げていますが、費用の問題、場所の問題を挙げ、話を聞くというけれども門を閉ざしているように感じます。例えば、1学級・特別学級を作ったら12億で新しい学校がこのようにできると、松山の将来的な地区のビジョンを考えた場合に、この場所での小学校という教育施設、そして地域の我々のよりどころとしての一施設という観点から見た場合に、松山小学校はいろいろ問題があって、工事をしながら一緒に授業をするのは大変だということで新しい提案を何回もしていますが、聞く耳を持っていただけないように感じます。最終的にどこかに決まってもいいけれども、話を聞いた上でこのような形のシミュレーションがあるということをして、結果的には財政問題でのメリットデメリットを出してから話に入っていただきたいのですが、既に、用地費用、開校までの期間の問題を挙げてあるでしょう。特に開校までの期間については、私も今までいろいろご意見をお聞きしてきましたが、幼稚園や保育園の流れがあって、中学校の流れがあって、地域住民の意識も変わってきて、小学校の統合という話が出てきました。どうして保育園は一緒に入ったのに小学校で別れなくてはいけないのかがあって、小学校が一本化になることについては、おおよそ住民としてもできてるわけですよ。ただ、場所についてはそういうお願いをしていますが、一向にまったく門前払いのような形で、私としては非常に面白くありません。建築費用に12億かかると、今建てるのは9億、この9億で校舎を建てても、ここ10年の間この校舎に金をかけなくてもいいのかどうか、プールも新しくして体育館も必要だとなった場合にもビジョンも示していただいて、やっぱり松山小学校はいいんだとなればいいですけども、そういうこともやはり

検討していただきたかったです。教育委員長が新しく就任したから一からしたいということで、私も先日言ったつもりだったのですが、ただやっぱり新築はできない、選択できないという返答なのか、新築で建てるという意見を一回受け止めてもらえるのかどうか分からないと、そのように私は思っています。

門 協 会 長 ただ今の小野委員の発言に対しまして、教育委員会から何かありますか。
大 沼 室 長 ここに書いた、これまでの発言というのは12月までの発言でありまして、この後に新教育長が12月26日に就任してから初めて出席したわけです。

先ほど申したように、その後どのような方向に向かうということをまだ議会決定しているわけではありません。少なくとも、これまで教育委員会のほうでこうやって進めたいといったものを今の段階で決定するわけにはいかない、もう少し考えましょう、ということできております。また、今日、シミュレーションを持ってきておりませんが、状況としては土地の状況はかなり厳しいと感じております。農地転用ではなくて、完了告示すらしていないところ、そういうところに向かわざるを得ない、まさか山のほうに行くわけにはいかないの、だとすると厳しい状況との印象を持っています。新しい所に建ててほしい、あるいは内郷小学校を使って欲しい、といった意見は教育委員会にはもちろんですが、市長のほうにも報告されております。地域の方々にも直接言う機会もあるようでしたので、そこは、はなから無視をしているというわけではない、ということをご理解いただきたいと思います。

門 協 会 長 はい、ありがとうございました。では、小野委員どうぞ。
小 野 委 員 新しいところでシミュレーションはしない、やってもらえないということですか。

大 谷 室 長 それを含めてもう少し時間を頂きたいです。新しいところもそうですが、断層についてもどうやって調べたらいいのかを調べているところで、物理的に掘るのか、専門家の意見を伺うのかといったことも含めて、どうやって答えを出せるのかということ調べている最中であり、もう少し時間をいただきたいと思いますので、決してシミュレーションできない、しないということではありません。

小 野 委 員 例えば松山小学校に統合するのだとすれば、校舎を改築しながら、耐震構造にするわけですから、工事するとなればそれでもいろいろなシミュレーションがあるはずで。そのへんをもう少し詳しく、子供たちの立場に立って、松山小学校にした場合、こういう過程がある、メリットデメリットがある、新規の場合はこういうフォローが出来るけれども費用はこうだ、というような比較をしてもいいのではないかと考えます。いずれにしても、この小学校は地区の拠り所となるものでありますので、地区住民としても重視していき

たいですし、単なる協議の場だけではないと位置付けをしたいと考えています。以上です。

門 協 会 長 ただ今の小野委員の発言について、教育委員会のほうからよろしいですか。

大 沼 室 長 はい、承りました。

門 協 会 長 はい、次に後藤委員お願いします。

後 藤 委 員 親御さんたちも含めて地域の気持ちとしては、子供たちの安全性について最大限の優先事項にして欲しいという声を受けた形で、松嶺コミュニティは要望書を差し上げております。そういった中で、庄内平野東縁断層帯、南側になります。それとともに横根山自体にも活断層の見解が出ていますので、庄内平野東縁断層帯の活断層の評価に対する対応については、いわゆる里仁館から松山小学校に向かうラインだけでなく、いろいろ見解が出ておりますので、十分それを踏まえた形で、その中で安全性をどう確保できるのか、お答がいただけるように検討をお願いしたいと要望申し上げます。

門 協 会 長 ただ今その後藤委員のご質問に対しまして、教育委員会から何かありますか。

大 沼 室 長 山際といいますか、松山断層の話と、内郷小学校の北側のほうにある横根山自体にラインが入る、盛り上がっている、両側から押されている。同じ活断層だけれども傾きが違う、別の断層ということでは聞いてはおります。専門家の方なども違う評価をされていまして。それも含めまして 活断層に対する安全性というのは、揺れるということは避けられようがないことですが、また裂き状態になって、あるいは上下になれば1回2回とずれて、ぺちゃっとはならないですけれども校舎が引き裂かれる、そのような特徴があると、そういった意見も出ております。確かに、我々だけで断層について評価できませんので、専門の先生が近くにおりますので、ここを調査されている方、5人も名前が挙がっておりますので、意見を聞いていきたいと思っています。そのうちのお二人には、直接いろんなことをお聞きしたりしてお世話になりましたので、今後とも接触していきたいと考えております。

門 協 会 長 後藤委員、今の説明でよろしいですか。

後 藤 委 員 はい。

門 協 会 長 他に何か質問、ご意見がありましたらお願いします。

小 野 委 員 もう一度、確認させてください。12月26日の会議で2月中に結論を出したいということを聞いていましたが、今日の会議を受けて2月で出すとかもう少ししてから、例えば6カ月後にするとか、もう一度地域の総合的な判断を地域からいただくとか、期間がまだ決まっていないんですね、当初2月という提案がありましたよね、その確認をお願いしたいです。

門 協 会 長 はい、教育委員会をお願いします。

大 沼 室 長 1月と言ったと思いますが、それは統合が決定したうえで26年度予算に調査できるよう組ませるということであれば1月に決定したいということで

した。先ほど申し上げましたように、1月決定は今の段階では掌握しきれないということで、予算のサイクルの仕事ということになりますので、仮に2月でだめで3月でということになれば、会計期間も27年度予算に向けてということになります。ただ、いつまでも伸ばすつもりはありません。この前のお知らせの中では9月頃までには結論を出して予算を組んで向かいたいと、27年度のそういった打ち合わせをしています。それもあくまで受注出来ればの話です。また、これから開校式等さまざまございまして、今、教育委員のほうも集まる機会が少ないですが、4月以降もまた地域の方とは協議させていただきたいと考えております。

地域との話し合いということにつきましても、こういった団体さんと協議をしたらいいのかを含めて、協議会あるいは松山総合支所と相談をしまして、今度、すべてオープンな懇談会だけではなくて、団体さんからもいろんな意見を聞けるように進めていきたいと考えています。

門協会長 はい、小野委員よろしいですか。

小野委員 はい。

門協会長 ほかに、いませんか。

後藤委員 そうすると25年度予算の扱いは、どのような形で決定なのでしょう。

門協会長 はい、教育委員会お願いします。

大沼室長 25年度予算は24年度に編成したのですが、当時の状況からまったく統合を考慮しない松山小学校の調査設計費の予算でありました。25年になってから平成25年度に生まれた子供たちの数を調べ、松山小学校の複式が1年前倒し平成30年から始まることが分かって、統合の論議になったわけなので、現在の予算は、統合を前提としない松山小学校の調査設計費ということで、そのまま執行するわけにはいきませんので、3月補正で全額落とします。

門協会長 ありがとうございます。後藤委員、よろしいですか。

後藤委員 はい。

門協会長 ご意見がなければ次の議題に移りたいと思いますが、よろしいですか。

(2) 松山地域における事業計画等(案)について

(3) 平成26年度松山地域づくり事業(案)について

門協会長 それでは、(2)(3)の議案について議題としますので、説明を事務局からお願いします。

秋葉課長 それでは私のほうから、平成26年度松山地域における事業計画と地域づくりの関係で、(2)、(3)一括で提案を致します。3月議会が来週から開催されますが、その議会で26年度予算が審議されることになっておりますが、その一般会計におきましても松山地域事業計画、地域づくり予算等々について

て現在まで承知していることにつきまして、お話申し上げたいと思います。支所長からは最後に総括的なこととお話申し上げますが、私のほうからは資料1、資料2の部分につきまして、所管担当課長から順次ご説明申し上げますのでよろしくお願い致します。

初めに、資料1になります。横版の26年度松山地域における事業計画等(案)の資料をご覧いただきたいと思います。この資料につきましては本所各課を含めて予算を持っている部分を、2月10日時点のところまでの分かっている範囲で予算を記載しています。議会前でもありますので、少し微妙なところもございまして全市と表現されるところもございましてご了解いただきたいと思います。後ほど改めていろいろな部分で松山分がいくらになったと明らかになった時点で皆様にご紹介、お知らせしていきたいと思っておりますのでご了解をお願いします。

初めに右下のほうをご覧いただきたいと思います。事業費総額26年度につきましては、730,800千円となっております。この中で全市を除くという部分が結構ありますので、25年度予算では771,782千円であり、4千万程今のところ減額になってはいますが、積み上げていきますとほぼ同じ金額になると見ています。総務のほうから順次、主なものにつきましてご説明申し上げます。

初めに総務の項目です。①松山総合支所庁舎等の維持管理事業につきましては、松山総合支所の庁舎、庁舎の機器、公用車15台等にかかる維持管理修繕等で18,855千円、例年ベースで予算措置されているものであります。

それから市民生活の項目です。①松山スキー場の備品購入費用につきましては、今年度整備されました人工ゲレンデ専用のスキーあるいは冬季スキー場のレンタルスキーの購入、スノーモービル1台の更新をすることになっております。④体育施設の耐震診断事業につきましては、松山体育館の耐震診断を実施する予定であります。一番最後の段、⑬防災拠点再生可能エネルギー推進事業につきましては、地域の防災拠点に太陽光発電設備と蓄電池等を整備して、災害時のみなさんの避難場所を整備するものであります。設置場所は、初め松山総合支所と考えましたが、あいにく太陽光発電設備を設置するスペースが支所にありません。そのため避難場所となります松山農村環境改善センターの屋上にパネルを設置し、こちらを拠点施設としまして利活用する事業が26年度から開始、今年度は26年度設計分を、整備工事費につきましては27年度に措置される見込みとなっております。太陽光発電10キロワット、蓄電池1時間当たり15キロワットという内容で2,700万円程、来年度27年度に整備工事が実施される予定です。

健康福祉につきましては、支所長からお願いします。

池田支所長 健康福祉については、こちらは支所そのものというよりも松山地域にあり

ます各施設の運営管理費になります。それぞれ前年度と同じ予算項目となっております。③放課後児童健全育成事業ですが、これは学童になります。去年、各地区にお邪魔した際に、あるいはアンケート調査した際に「土曜日学童を行ってほしい」というご意見も出されましたが、今現在も、土曜日は学童を開催しております。これは新年度も継続して行う予定です。今のところ新年度も10人を越える申し込みをいただいているため、今年度並みの運営ができるのではないかと考えています。また、この予算とは離れますが、酒田市全体の予算として、もうひとつお話があります。去年お邪魔した際に、「子供の通院にかかわる医療費を小学校6年生まで拡大してほしい」とご意見が出されました。新年度予算におきましては、通院を小学校6年生まで拡大、入院は中学校3年生まで医療費の支援をしていくと酒田市全体の話ですが、予算が組まれているという報告になります。以上です。

大 淵 課 長 続きまして、建設産業課事業の説明をさせていただきます。最初に、建設1番の城南2号線の改良です。これは、工業団地内に新たな企業立地に伴います改良舗装工事であります。クリーンエネルギー太陽光発電に取り組む企業の参入による交通の利便性を図るものです。

②の小見石名坂線改良舗装事業は、25年度に引き続いて行う継続事業であり、拡幅、舗装、側溝工事となります。

③④は、道路橋梁、道路維持事業は管内の道路、ポケットパークなどの助走、整枝等の維持管理、道路灌木補修、側溝の小規模補修であります。

⑤後交通安全の施設はガードレール、路側帯などについて竹田地内の要望が出ておりますので、迅速に対応、応じたいとの背景があります。

⑥の側溝整備事業については、24年度から実施しております、1支所あたりで約200m程度の整備をおこなっております。

⑧農業集落排水施設機能強化対策事業は、大川渡処理施設を廃止し、南部処理施設に統合し、施設の処理機能の向上を図るものです。平成26年度後半には運用を開始が予定されています。翌27年度には大川渡は解体します。

次に、農業関係ですが、①中山間地域等直接支払い事業については平成22年度から5ケ年の集落協定に基づき4地区で取り組んでいます。

次も、多面的機能支払事業は、旧農地・水保全管理支払支援交付金を国において名称変更し、農地等多面的取り組みの拡充化を図っております。内容としては水路や農道などの施設老朽化のための補修に対する農地維持支払い。資源の長寿命化を図る資源向上支払いとなっております。

森林病虫害等対策事業は、松くい虫防除のため薬剤地上散布1.2haを予定しております。⑨6次産業化等推進事業は農産物加工所のレトルト食品・フリーズ等借上料です。

秋葉課長　それでは 私のほうから消防の話を致します。消防の項目①耐震性貯水槽建設につきまして、26年度は3基の貯水槽の耐震化を図りたいというものであります。地区内104基の貯水槽がありますが、おおむね8割ほどが今まで有蓋耐震化に取り組んでいます。②の小型動力ポンプにつきましては、2台ないし3台を更新しておりますが、すでに導入済みの機械を更新するというものです。③消防積載車につきましても、中北目にあるポンプ積載車が古くなりましたので、これを更新するというものであります。中北目につきましてはポンプも車両も同時に更新することになります。

教育の項目にいきます。③松山歴史公園整備事業につきまして、整備工事としては26年度は2年目に入ります。26年度につきましては、仮称ですが伝習機能施設整備で、多目的な研修施設の2期目の工事に入ります。庭園部分、調整池の周辺工事、そして旧松嶺高校の校舎ですが、今現在、松山文化伝承館の収納庫として使っているところがありますが、それを解体しまして通路を設けます。そしてその手前のほうに丸馬出しという整備を行います。伝習機能、歴史公園全体の整備工事は今年度で終了します。おおむね8月いっぱいかけて整備が終わり、松山歴史公園のオープンは27年度4月以降にフルオープンはずれ込むかなと考えています。伝習機能施設につきましては、27年1月頃からは使用できるように調整中であります。なお、全体の施設の利活用につきましては、所管であります社会教育課と協議を行い、それから皆さんにご説明をしていきたいと考えております。そのため、もうしばらくお時間を頂きたいと思っております。

地域づくり事業につきましてご説明申し上げます。資料2の縦長のほうをご覧ください。資料2の地域づくり事業につきましては、前回の協議会で考え方等、予算要求の段階でご説明申し上げたところですが、今回、内示等を受けまして改めてご報告申し上げます。予算額で一番下の欄になりますが、1,177万9千円、前年度に対しまして539万8千円の増額になります。主な増額減額の内容について申し上げます。2番の地域振興事業は拡充させていただきました。191万9千円の増額であります。内容につきましては、前回、第4回地域協議会では4つの柱として申し上げたところですが、予算の査定段階で少し我々の努力が足りないところもあり、3本の柱となりました。一つ目は、魅力アップセミナーとしまして独身男女を対象とした魅力を高めるためのセミナーを、地域づくりのサークルであります「らぶりびと」という組織団体と連携をして、出会いの場を作っていきたいというものです。二つ目は、高齢者の健康づくりについて、新松山音頭を生かした健康づくりと高齢者の集いの場を作り出したいというものです。それからもう一点、まつやま塾につきましては、城下町として培われた文化伝統芸能を継承しながら

ら地域の担い手づくりや、地域の向上等を目指したいとするものです。具体的な内容としましては、創作紙芝居、わら細工と生活用具等の制作、甲冑、武具の修理、そして郷土料理を伝承していくという内容を考えています。魅力アップセミナーについては 500 千円、高齢者健康づくりについては 360 千円、まつやま塾については 1,261 千円の予算を措置していただいたところでございます。

なお、前回お話ししました松山の魅力再発見につきましては、予算的には措置されておりませんが、既決の予算とまつやま塾等々の中で考え方を生かしていくということ、また、27年度予算確保に向けて、事務局としてもう少し高みを目指して、中身を考えていきたいと考えています。

7番の青少年国内外交流事業につきましては、26年度はアメリカ派遣のため、1,722千円増額となりました。以前も申し上げましたが、中学生をアメリカに派遣する事業で、東部中学校の生徒を対象としています。今回も予算査定の中で、はばたき等との整合性等でやり取りを行ったところ、松山支所としましては地域づくり事業であるということ、あるいは相手方でありますライトハウスチャータースクールの強い要望等を受けていることもあり、是非はばたきと一緒にではなく、松山支所の地域づくり事業の一環として、継続して取り組んでいきたいと考えて説明したところです。27年度以降も、本所との協議を行っていききたいと思っているところでございます。

新規事業としましては、9番の過疎地域農商工連携特産品開発支援事業に100千円、10番に地域振興事業（建設産業課所管）に2,055千円が措置されました。9番の過疎地域農商工連携特産品開発支援事業は、25年度は本所の農政課の予算をいただきながら6次産業推進事業として取り組んだ事業がありまして、地域農産物のおぼこ梅やラ・フランスを原材料として試作品や新たな商品を作ろうと、イベントで試作品の提供、商品の販売を行ってきたところです。今年度は、この事業を地域づくり事業の中に取り組んで地元農産物を活用した更なる商品の開発、それから農業者・商工業者による研究会を組織しまして地域活性化を図る事業となっております。

10番の地域振興事業は建設産業課が主管になりますが、従来、観光物産課が酒田市観光物産協会に補助金として出していた部分がありまして、本所から支所の物産協会支部に予算が流れてきているのがあるのですが、支所で行うイベント、観光的な事業につきましては、地域振興事業としての色合いが大変濃いという判断もありまして、行政と従来の観光物産協会と両者が緊密になって事業を行うという考え方から、今回、地域振興事業費として205万5千円を負担金として予算化するものであります。以上、地域づくり事業までご説明申し上げましたが、前回の第4回地域振興協議会で説明したことと若干異なることがありまして、今回、改めて26年度事業の松山地区の予

算、地域づくりの予算としてあげることになりましたので、よろしくご協議
くださいますようお願い致します。以上であります。

門 協 会 長 はい、ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、委員の皆さんから何かご質問、ご意見がありましたらどうぞお願いします。難波委員どうぞ。

難 波 委 員 消防の件です。山寺の仲町ですが、消火栓ホースを入れるケースが壊れていて、何年も放置している状況のところがあります。そのホースは消火栓のある家で預かっている状況で、玄関に保管をしています。そういう状態なので、ケースとか消防の何か資材か何かで出来るものでしょうか。

門 協 会 長 はい、事務局お願いします。

秋 葉 課 長 自治会の地域に設置される消火栓に対するような、消火栓のホースや切先等については、松山町時代に整備したものがほとんどであり、その後に変更して自治会で整備したというような流れで現在まで来ております。自治会のほうで整備されるというのであれば、総務の危機管理室のほうで若干調整をしますので、是非というような流れになっています。町時代に整備されたものが古くなっていることは承知しておりますが、今のところ行政のほうで主体的にするということにはなっておりません。自治会長さん方の会にもお願いをするのですが、ご了解を頂きたいところです。

門 協 会 長 難波委員、今の説明でよろしいですか。

難 波 委 員 はい。

門 協 会 長 他に何かありますか。齋藤委員、お願いします。

齋 藤 委 員 先ほどの松山げんき創造事業の中に、松山音頭を入れてとありましたが、今までのまつやま音頭だと若い人たちは興味を示さないんですよ。今あちこちでは、よさこいをやっていますので、まつやま音頭の踊りをもっと改良して、小さい人から大人まで踊れるようなものを作っていけば少し賑やかな踊りになるのではないかと思いますので提案したいと思います。

門 協 会 長 事務局は、回答をお願いします。

池 田 支 所 長 ご指摘ありがとうございます。この事業をやりたいと考えておりましたのは、若い方たちはもちろん、子供たちから高齢者の方々までいろいろな世代の方がいらっしゃるわけですが、特に高齢者の方々に健康づくりとして活用していただきたい、家から出てきてください、家から引っ張り出しましょう、人とふれあいや会話をしましょうという願いなのです。それと同時に高齢者向け体操や健康づくり、健康塾とさまざまな事業がありますが、そういう場で松山新音頭としてアレンジし、振付も考えていただいて、主に高齢者の皆さんの健康づくりという主眼で活用していきたいと考えていたところです。

門 協 会 長 齋藤委員、よろしいですか。

齋 藤 委 員 はい。

門 脇 会 長 小野委員、どうぞ。

小 野 委 員 一点目でございますが、住民アンケートを行った際に少子高齢化対策として婚活の話がありましたけれども、学童保育もですが、子育て世代の負担を軽減することは重要なことですので、学童保育も整備運営を含めてお願いすると同時に、先ほど3年生から6年生までの医療費の話がありました。これも少子化対策の取り組みとして評価できると思いますので、お礼を申し上げたいと思います。今後も継続して少子化対策の取り組みをお願いしたいと思います。二点目でございますが、自然災害、とりわけ地震や風水害などの災害時の安全対策として取り組んでいるわけですが、消防や市民生活の観点から、災害時の自治会の自主防災、訓練なり、緊急の連絡体制等、ハード面はもとよりソフト面も強化してもらいたいと思います。災害は忘れた頃にやってきます。昨年、南部ではコミュニティから自治会に落としてやった経緯もあります。ぜひ取り組みにはソフト面も強化してもらいたいと思います。

もう一点はデマンドタクシーです。みらいトークでも申し上げましたが、松山は、行政区としては酒田市として存在していますが、地理的には庄内町と隣接しています。病院の利用となった時に、南部からも先日意見が出ていたと思います。南部からきて支所だけでなく金融機関等に行けないものか、行き先が病院だけでなく緩和ができないものかどうかと市民ニーズが出ているはずで、緩和する考えがあるのかどうか、市民から出てきた考え方について検討する余地があるのかどうかお聞きしたいと思います。

最後、花いっぱい運動です。松山の農家の方が一生懸命に頑張って、花いっぱい運動に取り組んでいます。予算を減らされて、私も去年自治会の役員をやりましたが、清川橋のそばの花壇に花を植えて管理しました。水かけをするため1か月毎日一輪車で水を汲んだりしていました。それをやっていたこともあって他の地区を見た時に、前から花いっぱい運動に取り組んでいたところが、荒地になっています。知恵を出して一年草だけでなく多年草も加えたりして、少し考えてやらないと続かないのではないのでしょうか。例えば私の地区では、苗を購入したりしました。そういうことも続かないと思いますので、花いっぱい運動の荒地が出ないように、せっかくきれいに手入れしていたところが荒れないようにしたらいいのではないのでしょうか。宮城松山に行くとコスモスがたくさん咲いていたり、八幡ではひまわりを勧めているようです。もっと松山らしい独自性を出すような対策に取り組まないといけないのではないのでしょうか。

門 脇 会 長 小野委員に対して事務局からお願いします。

池田支所長 まず少子化対策ですが、25年度に生まれるであろう子供さんはほんとに少ないことが見込まれています。昨年度、その前を見ますと右肩下りの傾向が続いていることもあり、少子化対策として何をしたらいいのだろうかとい

う思いで婚活事業をしていきたいという願いを持って、予算化に向かったところでした。さきほど「らぶりぎと」に委託しての事業と説明をしましたが、そのグループが持っているノウハウとネットワークを発揮していただき、ただ丸投げするのではなく、こういうことをしていこうという目的を持ちながら、事業委託をしていきたいと考えております。

予算要求対応なんです、予算要求をすると松山に未婚の方はどの位いるかということが想定問答として考えられます。しかし、住基ではすぐ人数が出ない、戸籍を見ないとわからないということもあり、民生委員の方に、アバウトでいいから、目算でいいからと状況の把握をお願いしたところです。単年度事業ではなく続けていきたいと考えています。

デマンドタクシーの行政区域を越えた運行につきましては、権限外のことなので確かたことは言えませんが、定住自立圏構想の話し合い、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町との間でスタートしました。恐らくということになりますけども、デマンドタクシーは今のところ行政区域内の運行になりますが、この定住自律圏の中の課題ではないかと想像をしております。

秋葉課長

防災対策の関係でございます。昨年度4コミュニティ振興会にご協力をいただきまして、全地区にコミュニティ防災組織を作っていただきました。そして昨年9月、地域防災の日には4地区一斉に防災訓練をしていただきありがとうございました。

26年度につきましても、その流れで再度継続して防災訓練等を実施していきたいと考えております。4地区に整備されてある防災機材庫の中にある備品等につきましては、自治会あるいはコミュニティ振興会で訓練をする際には十分使えるものですので、ぜひ使ってくださいとお願いしております。ただ、水を浄化する装置を使っていただくのはあまりうまくないのですけれども、ガスボンベ等々は使っていただいても大丈夫です。こちらで補充しますので、炊き出し訓練等にも使っていただいて結構ですので、よろしくお願ひしたいと思います。また、コミュニティ振興会の防災組織の皆さんと協力をしながら26年度でも訓練をしていく予定ですので、よろしくお願ひ致します。

花いっぱい運動で提案頂いたコスモス・ひまわりの件です。例年、一年草を花のポット苗で行ってききましたが、全市的には種からの栽培でお願いしたいと今年度から少し予算縮小になっています。26年度からほぼ同額・同数確保できますが、考え方そのものはやはりポット苗で導入する考え方と、種を使って地域の皆さんと一緒に花いっぱい運動をしていただきたいと思います。コスモス・ひまわりは、交通島等については、背丈が高くなりますので、また別の問題が出てこようかと思われま。そのため、花の種類につきましては今後

検討していきますが、考え方そのものにつきましては ポットではなくて花の苗からという考え方がありますので、ご提案頂いた件は今年度検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

門 協 会 長 はい、小野委員よろしいですか。

小 野 委 員 二点だけ、もう一度確認します。少子化対策の中の婚活事業はもちろんです。中でも特に子育て世代の負担軽減として、小学校6年生まで通院分の医療費無料をしていただくということでした。保育料も含めていろいろな面で今後も少子化対策を継続していただきたいという意味でございますので、よろしくをお願いします。

デマンドタクシーの件では、実態としてこういう例があります。日本海病院に行くとき、あなたは本間病院を選びますか、それとも庄内余目病院を選びますか、と聞かれるのです。山寺のある議会報告にも出ていましたよね。生活圏が山寺で酒田市内を利用したくなくて移るのではなくて、あなたは酒田市の日本海病院で診れませんから、施設に居れませんから移ってくださいと、というのが現実なんですね。定住圏の問題で検討するということでしたので、実態把握と市民ニーズをつかんでいただいて、行政もいろいろ入り組んでいるわけですので、高齢者が利用しやすいように、買い物に行くのにタクシーは利用できないわけですが、最低限の医療を受けられるように市民としてお願いしたいと思います。

門 協 会 長 事務局は、今の意見について何か答弁はありますか。よろしいですか。

池田支所長 子育て世代の負担軽減につきましては、先ほど違う回答をしてしまったようです。失礼致しました。保育料も国の基準がありまして、所得に応じていくらかという国の基準があります。今、酒田市の保育料というのは、それよりも安く設定しています。それに加えて、兄弟二人あるいは三人が同時入所した場合は、負担軽減策を講じております。保育料が高いという投書などもあります。さらに安くしている自治体があるかも知れませんが、酒田市の軽減策を講じてきた経緯があります。同じように学童保育に関しても現在、月7600円で行っていますが、低所得世帯の対応策という意味でも、あるいは学童保育も保育料と同じように同時入所があった場合、学童保育料の軽減策を導入しながら対応をしているところです。

門 協 会 長 ただ今の補足説明はよろしいですか。

小 野 委 員 はい、よろしいです。ありがとうございました。

門 協 会 長 はい、村山委員お願いします。

村 山 委 員 教育区分の③ですが、オープンは27年度ですか、予算の高額な投入で多くの旧町民、もちろん市民の方も期待していると思います。公園となると、酒田市の出羽遊心館の公園は、比較されやすいですが、とてもきれいです。規模が違うので一概に比較はできないと思いますが、遊心館はいつでもきれ

いです。汚いと思ったことが一度もないです。樹木や芝生が大変きれいな施設です。それに比べ、残念ながら松山文化伝承館を含んだ松山歴史公園一帯は、樹木が伸び放題といますか、きれいでないと思います。予算の関係があるとは思いますが創意工夫をして、もし予算がない時はボランティアを募るとか工面をして、オープンまでには樹木なども含め城下町らしい景観を整備していただきたいと要望します。

門 脇 会 長 はい、事務局からお願いします。

秋 葉 課 長 松山歴史公園施設そのもの、全体のフルオープンにつきましては平成27年4月以降、できたら5月の連休前にオープンできるようにしたいと所管である社会教育課と協議を行っています。その前段として27年の1月には、伝習機能施設がオープンできるのではないかとということです。工期が26年8月いっぱいのお予定になっておりますので、3カ月ぐらいで内部も全てやって、また4月まで何も使わせないのではないかとのお話をしております。オープン建物が1月、公園も含めた全体がオープンするのは4月以降と2段階になることも検討しております。

それから、5億ほどのお金を投資して現在の一万平米から二万平米に増やす事業で、市民の期待も大きいですし、地元だけが使うということを想定しているわけではありません。お茶の研修もできますし、能もできるという多目的に使える施設というご認識をしていただければありがたいと思います。

それから最後に樹木等の関係につきましては、旧朝日園を解体した際に、樹木を8割程、整備したところです。低木につきましては、入れ替えも考えております。今まで皆さんに不評を買っておりました大部分のケヤキにつきましては、二本ほどを残し全部伐採をしまして、明るく見通しの良いものとして考えております。管理につきましても、これから所管のほうと検討してもらいますが、公園全体の管理等は、指定管理もしくは直営で行くのか関係もありますが、樹木を含めて全ての管理ということになります。今いただきましたご意見は、今後も管理に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

門 脇 会 長 ありがとうございます。村山委員、よろしいですか。

村 山 委 員 はい。

門 脇 会 長 はい、次何かありませんか。白旗委員、お願いします。

白 旗 委 員 前回の会議で、課長さんから地域づくりの予算について考え方を教えていただきました。前回の予算要求、資料をいただいて、地域づくりですが決して金額は何百万円程の増額になっています。これが通ったということですが、これについては、地域の課題があって、それに対する課題に取り組むということで、今後も必要だったらどんどん通っていくそういう区分の予算案かどうかの一つです。あと予算要求の時期があるかもしれませんが、そのなかで

旧3町の過疎対策は、全酒田市としての事業だと、活性化が柱となるべきものと思いますが、それに対して予算編成方針で、今年度26年度は旧3町について措置をしていきたいと予算要求の中でやり取りがあったのか。

門協会長 事務局のほうからお願いします。

秋葉課長 地域づくり事業に関する考え方で、確かに前回の地域協議会におきまして、従来までの地域づくりに関しましては、前年度等々の踏襲をするという考え方で来たところを、26年度からにつきましては、地域で課題をとらえていくことについては、地域で十分対応できるように要求して予算化していただきました。そのため、26年度につきましては様変わりしたような考えになります。

26年度の地域振興事業ですが、特にこれからの地域を考えていく、活性化を図るうえでの地域づくり事業は、この3本・4本等をメインとしてやっていきたいと考え、これを3カ年程度の考え方で予算要求をしていきます。そのため当分3カ年については、この3本で実行していきたいと考えております。また、2カ年、3カ年経過する段階で新たに出てくる課題等がありました場合には、改めて皆様方と協議を行わせていただいて、改めて予算要求をしていきたいと考えております。

酒田市全体の中での3支所の考え方につきましては、それぞれ支所毎に予算要求をする、考え方を示すかたちを取っていきます。出した段階で財政課等々で考え方を整理するんですが、今回はほぼ同じ形で、金額的には12,000千円前後の事業費で、松山が少し多い形になっています。

過疎化対策等につきましても、それぞれ3支所ごとに課題を持っておりますので、過疎対策の起債を実施しながら、今回千二百万の予算を実行していきます。本所のほうでの施政方針としては、3支所と飛島の過疎中山間地域振興という部分でそれぞれの事業を実施していきますという位置付けです。

松山では特に歴史公園がクローズアップされており、歴史公園を主として地域づくりに取り組み、地域振興事業を行っていく位置付けです。そのほかにつきましては、それぞれの大きな課題があって3総合支所管内、飛島の離島振興の位置づけで施政方針の中で述べられております。

門協会長 はい、ありがとうございます。白旗委員、よろしいですか。

白旗委員 はい。

門協会長 他に何かありませんか。日野委員どうぞ。

日野委員 10番目の新規事業である地域振興事業（建設産業課）は、「地域独自の観光素材を活用することにより」とありますが、温泉地に行く計画を立てますと、神社・温泉・土産物屋、三つが揃っているところを選ぶようで、旧松山地区には、商売繁盛の神社があります。長寿の神様があります。そこに行っ

て、温泉に泊まって、縁起のいい神社仏閣も観光素材の中に載せていただいたら、長寿の会合、同窓会など、観光のお客さまも来るのではないのでしょうか。温泉につきましても、自然に囲まれた辰ヶ湯、観音湯、さんさんもあります。他地区に知られていないところも掲載することで、松山を知って松山に来る交流人口も増え、帰りの際には松山の名産を買っていくことにつながるのではないのでしょうか。ひとつの検討課題にさせていただきたいです。

私の家は伝承館の近所です。「ここの土産は何ですか。」と聞かれることがあります。また、「松山の名前がついたものを買っていきたい。庄内麩が欲しい。」と言われます。「お酒もいいところがあるといい。」と声がありますので、松山の名産を何点か載せれば、松山に来たお客様が購入し、松山の印象も良くなるのではないかと思います。

伝承館ができて、駐車場に停められないのか、地区内をぐるぐる走っているのを見かけます。駐車場が正面玄関のところがせまいです。あの近所で私の親戚の方がいるんですが、去年の8月に会いましたら、「引っ越ししてから、誰も住まないし活用していただいてもいいよ。」と言われております。酒田市でも空き家を確保していれば、それを利用するなりアイデアが出てくると思います。

そしてもう一つ、大瀬そば屋のほうに藤の花のつるがありますが、北町の周囲の人が「つるを切ろうか。」と言ってましたので、ボランティアとしてやってもいいのかどうか、話し合いをお願いします。

また、歴史公園の周囲には塀があります。北側を北町町内会の方々が定期的に草を刈ったり、岩の間の草を取ったりしております。これからは、行政任せではなくて余力のある方が支援の会を作って、その会でやれば村山委員、小野委員もいますけど整備すれば自然にみんな良い方向に向かい、きれいで美しい松山になると感じています。私も余裕があれば少しぐらいはお手伝いできるのではないかと考えています。

門 脇 会 長 酒田のふるさと商工会との兼ね合いもあるように聞こえましたが、酒田市だけで取り扱うのかもありますが、事務局として関連あるようなところだけでも、ご回答をお願いします。

秋 葉 課 長 歴史公園が整備された後と想定されるように思われますので、私からご説明申し上げます。歴史公園に特化した所だけしか松山は無いというわけではありませんので、これから松山歴史公園を拠点としたものを観光部分で取り上げていくことになろうかと思います。歴史公園を拠点にしてそこから始まる街歩きや、眺海の森まで行くルートではいろいろな部分があり、神社や温泉までを含めたPRが可能かなと思います。お土産等々につきましても、新しくできる施設には産直等も含め、いろいろな提案を頂いております。できれば松山の特徴を常時常設できる部分も欲しいと行政も考えております。

それから、地権者・駐車場の関係につきましては、現在の駐車場も基本的には広くなりましたけれども、一部分雪が解けていない等の影響でスペースが狭く感じる場所があるかも知れません。駐車場については、現在の倍以上のスペースを整備しております。将来的には、それ以上のものは想定しておりません。それで足りなくなりますと、隣接するところに里仁館や松山体育館の駐車場が大きいスペースでありますので、そちらとの兼ね合いでも有効活用できると考えております。

ボランティアの関係は、松山歴史公園の広さがおよそ二万平米と相当広くなります。樹木・芝生も相当な面積で整備されますので、その維持管理・整備等につきましては行政、また受託する団体会社等はもちろんです。できましたら地域の施設でもありますので、ボランティアの皆さんのご協力もいただければ大変ありがたいことだと思っております。

最後に、藤つるは以前公衆電話があったところかと思いますが、そこにつきましては市の管理になっています。所管のほうに確認しておりますので、もし皆さんの手入れが可能であれば、よろしくお願ひしたいと思っております。

今回のようにご提案いただければ、これから所管課と協議していく中で何ができて何ができないのか話し合いになろうかと思っております。そのため今後も皆さんのご意見をいただけると大変ありがたいと思っております。よろしくお願ひします。

門 協 会 長 ただ今事務局から説明をいただきましたが、日野委員よろしいですか。

日 野 委 員 はい、わかりました。

門 協 会 長 ほかに何かありませんか。無いようでしたら、次に移りたいと思っております。

(3) 平成26年度行政組織機構の見直しについて

門 協 会 長 平成26年度行政組織機構の見直しについて、事務局から説明をお願いします。

池田支所長 新年度平成26年度行政組織の見直しをすることにつきまして、26年度の基本方針ということで、その前に基本理念というものございまして、その中に最小の経費で最大の効果を実現すると書いてあります。

さまざまな課題がございます。酒田駅前再開発問題や上下水道等の課題が発生しておりますので、その新たな課題に立ち向かう組織を作り上げていく、そのために組織機構の見直しを図るということでもあります。

大きい用紙の左側からご覧いただきまして、黄色にマーカーされている部分です。納税課に滞納整理室ができます。大口の滞納されている方、もちろん担税能力のある方が前提になっておりますけれども、そのようなケースを担当する部署として、滞納整理室を設けるとなっております。次に、その下

に太く書かれていますが、企画調整部の中に都市デザイン課を設けます。酒田市全体、駅前も含めてになります。酒田市全体の在り方を考える部署として、都市デザイン課を設置していくということが示されています。係の改編は飛ばしまして、今、新庁舎の建設が進んでいます。これは今度から建築課が担当することになりまして、建築課に新庁舎建設室という部署を設けて対応していくことになります。下水道課につきましては、今現在、上水道部が末広町、下水道課が東泉町にそれぞれ分かれています。法体系の関係で別々だったものを一つにしましょうと検討が前から進められてきたものです。上下水道を一つにしましょう、ということで統合準備室となって実現に向けて検討していくという中身になっています。

農林水産課には、地籍調査係を設けて対応していくことになります。東平田分が始まることになります。

観光物産課は、観光企画係と観光交流係と二つに分けてそれぞれが流動的な対応を図っていくということになっております。

右側に移りまして支所の分になります。支所につきましては、今現在、地域振興課と市民福祉課、建設産業課の3課構成となっております。この体制を地域振興課と市民福祉課を一つにすることになります。地域振興課の係はそのまま継続し、二つの課を合わせた形になって地域振興課が4係になるという体制が示されております。

次に、教育委員会、水道に関してになります。水道管理課につきましては、お客様係というのがあります。それを業務委託していくこともあり、その管理関係になりますが業務管理係を設けることになりました。教育委員会の給食関係につきましては、25年度から学校保健係が管理課から離れて学校給食だけを担当していることから、実態に即して学校給食係と名称の変更をしましょうという内容になっております。

人員等につきましては3月末の人事異動の発表にならないとわからないというところがありますが、以上報告になります。

門 脇 会 長 ただ今事務局から説明がありましたが、何かご質問がありましたらお受け致します。誰かいませんか。

小 野 委 員 確かに時代に即した行政組織の見直しをしていかないとはいけません。住民からのニーズ、住民向けの体制とかもそうですが、効率的運営としますと、それに反対するわけではありませんが、例えば観光振興課とあります。振興だったら企画、交流、とすべてあるわけですよ。それは業務分掌一つでできることではないかと思えます。例えば、そうはならないと思えますが、わたしは企画だけの担当、わたしは**交流**だけの担当とすると 前段で掲げている効率的・効果的な運営という考えに逆行するのではないかと思えます。係を作る、係を配置して係長を置く、みな縦割りになっていくのではないかと

懸念しています。組織として同じような仕事を縦割りですしているのであれば、その見直しを図ったりする必要があると思います。そこには当然、責任が不明確という要素も出てくると思います。なんとなく、総務部の中で作られたというような感じを受けます。今後のこともあると思いますが、市民に分かりやすい、市民のニーズをつかみやすい、そのための行政組織の見直しをしていただきたいと思います。例えば、職員の仕事が進むようにするため、行政の見直しをするのだと勘違いをされたら困るという感想を持っています。その辺のこともよく考えて今後も行政組織機構の見直しをしないといけないと思います。

門 協 会 長 事務局は何か補足説明はありますか。

池田支所長 ありません。

小 野 委 員 あと一つ、係長席は置いていますか。

門 協 会 長 事務局お願いします。

池田支所長 原則としては係には係長配置、ただし、課長補佐が兼務、主査が兼務という責任体制あるいは兼務体制の両方の形があります。

門 協 会 長 小野委員、いかがですか。

小 野 委 員 はい、わかりました。

門 協 会 長 富樫委員お願いします。

富 樫 委 員 合併当初から懸念される課題として支所機能があり、市民とのつながりが離れるのではないかという疑念があります。7年間の経過をみると、支所の体制がスリム化になって、我々市民からすれば、やはり弱体化しているように見えます。その中で、支所で問題解決できるということが市民からみて分かるのであればいいのですが、事務処理のスピードにも問題があった経緯もありました。今回それが3課から2課になっても、当局からすれば問題がないという説明だと思う。支所機能を強化してくださいよと、要するに市民との接点が遠くならないように、そう願う中で、だんだん本所に集約されていくような気がしてなりません。支所としての発言力をなくさないように願いたい。そうならないとは思いますが、そのように受け止めざるを得ないと感じています。

門 協 会 長 富樫委員のご意見に何かありますか。

富 樫 委 員 答弁は要りません。

池田支所長 合併スタートから今現在支所職員が28名と確かに減少しています。その人員体制の中で支所の必要性、役割、何をすべきかということを考えれば、地域の皆さんのご利用、それに対して市民福祉課のようにすぐお答できるものとできないものがありますし、当然予算を伴うものとあるわけですが、そのなかで暮らしやすい地域づくりをしていくことが、最大の使命であると考えています。その中で、まず市民の皆さん、とりわけ地域の皆さんにご迷惑

をかけないように維持していかなければならないと考えています。

ところで、各団体の全国規模ですが、定員管理というのがあります。その中で、酒田市の状況はどういうポジションにあるのかと考えますと、全国レベルと比べれば高いポジションにあるという現状です。だからというわけではありませんが、それともうひとつ、人件費の問題があります。平成28年度で、合併に伴う交付金が終わるといふ財源の問題があります。そうした中で、絶えることのない行政サービスをしないといけない使命を担っています。全国規模・全国並み・全国平均値までは難しい話ですが、行政サービスができるように、地域の皆さんにご迷惑をおかけすることなく組織を考えていかなければならないと考えています。

門 協 会 長 はい、ありがとうございます。富樫委員、今の説明でよろしいですか。

富 樫 委 員 要員は当局の考えでありますから、ただ、これだけの新しい事業がある中で、支所の体制としては大変だとは思いますが、ぜひがんばってください。

門 協 会 長 はい、ほかに何かありませんか。白旗委員お願いします。

白 旗 委 員 行政区域機構を変えていくなかで、観光振興課と観光企画課があつて、内容をみると広域観光などにも力を入れていくと書いてあります。全市的に見て酒田に人を呼び込む内容で、こちらのほうの観光にも力を入れていきたいと、つまり松山地域の観光に力を入れてくれているのか、そういう風に考えていいのかということです。

門 協 会 長 はい、事務局お願いします。

秋 葉 課 長 先ほど地域づくり予算で申し上げましたが、従来今年度まで観光物産課の予算で観光物産協会へ流れている予算が、26年度から地域づくり事業で流れていく予算があります。従来、観光物産協会がメインでやっていた事業は、地域振興と一体的にやったほうがより効果が高いという判断で予算の付け替えを行いました。地域の観光については、地域総合支所と観光物産協会支部が、地域づくりと一体となつて行うべきだとの考えのもと、そのような予算の流れになりました。そのため本所のほうで行うのは、より全市的なもので対外的にお客様を呼ぶようなイベント、例えば酒田祭りとか港祭りは、全市的な取り組みとして観光振興課がメインとなつて行うというように考えられているようです。地域のことは関係ないというようなことではなく、地域づくりに関しましては、地域の総合支所と観光物産協会支部が一緒になつて、地域づくり事業をがんばっていこうという考えがあります。従いまして、全市的な観光行政は観光振興課のほう限定として行い、地域の観光的なものは地域づくり事業として取り組むというような考えに基づいております。

門 協 会 長 白旗委員、いかがですか。

門 協 会 長 まず、後藤委員お願いします。

後 藤 委 員 今回の質問に関連して、観光の件になります。地域づくり事業として観光物

産協会支部と取り組むということですが、観光物産協会支部との連携の点で、観光物産協会の中での支部の位置づけが非常に危ないというか明確でない部分があります。どうやって行っていくのか考えをお聞きしたいと思います。

門 協 会 長 はい、事務局は説明をよろしくお願いします。

大 淵 課 長 まず、観光協会支部についてですが、前段で予算にふれますが、今回予算の付け替えということになります。地域振興費の予算にはなっておりますが、内容につきましては観光事業費用であり、これまでに行ってきたイベントの積み上げによる予算であります。したがって、新規事業となっておりますが内容は継続事業であります。予算規模については、前年度同様の配分となっております。しかしながら、この地域のイベントのあり方が現状のままでいいとは思っていません。今後の観光振興においてたとえば広域ルートの観点から、地域の観光資源や関係団体の参画と連携を促進していく機運が高まる必要と思えます。

事業の展開においても、さまざまな地域内在する有形無形の資源、いろいろな物産素材をレベルアップし、より内外に発信できるような観光振興推進母体が不可欠であります。その位置付けができて組織的な活動を行う中で、イベントを組み合わせるといのが一番良いといえるのではないかと考えています。今後は、課が行政の事務事業となり企画運営する中で、付加価値をもたらす手法をよく考えていかなければならないと思えます。

支部の今後の在り方についてですが、支部活動が事業縮小し先が薄い感があります。(事業・会など)総会や役員会もままならない状況です。支部運営の在り方もむずかしい局面となっております。これまでの事業予算が行政直轄で、新たに組織する実行委員会で事業実施する一方で、残る支部の事業は何かと絞り込まれて事業自体が薄い。今後は、より松山地域に地元以外の人を呼び込めるかどうか、それら効果を上げる内容・手法はどうかなど意見を汲み上げながら取り組んでいかなければならないのではないかと思います。まだ確定的なことは言えませんが、市の組織も変わり企画する部署において観光振興の広域化、重層化など枠組みで進めていかなければと考えております。

門 協 会 長 後藤委員、白旗委員、今の説明でよろしいですか。

後 藤 委 員 よくありませんけれども、これ以上お聞きしません。

門 協 会 長 ほかに何かありますか。無ければ、次に参ります。

(5) その他

門 協 会 長 その他、何かありましたらお願いします。

池田支所長 支所の在り方のご指摘を頂いた後でタイミング的に悪いのですが、皆様にお話がございます。

実は、今、年間を通して夜間の受付のご案内をしています。ここの支所の受付ですが、ということとで、8：30から17：15まで平日は職員が対応していますが、土日祝日につきましては管理人さんをお願いし対応を図っております。この点につきましては変更ありませんが、17：15からの夜間受付の話になりなす。平日・土日祝日365日になりますけれども、入口ドアに張り紙をしてご案内しております。お客様から電話連絡があった場合、その電話が警備会社に転送されます。当然支所は鍵がかかっていますので、おいでになったお客様から警備会社に電話をしていただいて、警備会社のほうから市民福祉課の職員のもとに転送されていく、こういう体制のご案内をしているところでございます。合併前であれば一つの行政区域に一か所、いつも365日24時間体制で戸籍関係を受け付け出来るようにしなさいとなっております。それが、合併したことにより酒田市全域で1カ所設置すればよいのですが、従来のまま現在に至っているところでございます。これを変更案のように、平田総合支所の夜間受付と一緒にしたいと考えております。機械警備ではなく、警備員が常駐しています。消防の関係もあって警備員が常駐していますので、ご足労おかけしますが、平田総合支所での夜間窓口の受付対応と変更をお願いしたいと考えております。

その理由について、下に書いておりますように、警備会社から職員に電話が転送されても職員が必ず在宅しているとは限らない、アルコールが入っているかもしれないということがあります。付近に住む職員も少なくなってきました。例えば、私が警備会社から連絡を受け、旧酒田市内から向かうとなると20～30分かかります。天気の良いければいいのですが、雨や雪の天気の悪い時であると、その間お客様をお待たせしてしまいご迷惑をおかけすることになりかねません。お客様には20分30分お待ちいただくよりも、ご足労をおかけしますが、そのまま平田総合支所に向かっていたいただいたほうが、早く用事も済ませることができらるだろうと考えております。また、利用実績については、ここ数年に関して申し上げますと、夜間受付の利用実績がございません。ただ、土日祝日の閉庁時8：15～17：15の時間帯に管理人さんが受付している実績は、毎年10人前後のご利用がございましたが、夜間の受付実績はありません。例えば、出生届ですと、持参いただいたその日のうちに終わらず、また次の日に来ていただかないといけない、死亡届は火葬場の関係もあって土日ということもあります。

このように支所では夜間受付に関して変更を考えているということをご相談申し上げて、一番下のところですが、自治会長さんたちにも同じようにご説明申し上げ、皆さんのご意見をいただき、最終的には地域の広報紙に掲載し、全ご家庭に周知してまいりたいと考えております。ご協議いただけるとありがたいです。

門 協 会 長 はい、ただ今の事務局からのご説明ありましたが、この件について何かご意見ご質問がありましたらお願い致します。

富 樫 委 員 八幡地区も同じ扱いなのでしょうか。

門 協 会 長 はい、事務局は説明をお願いします。

池田支所長 八幡総合支所につきましては、既に実施済であります。八幡から平田総合支所まで距離はありますので、市役所のほうへと張り紙を張って対応をしておりました。

門 協 会 長 富樫委員、よろしいですか。

富 樫 委 員 はい。

門 協 会 長 他にありますか。

後 藤 委 員 今年の4月から行う予定ですか。

門 協 会 長 事務局をお願いします。

池田支所長 実は、4月からだと切り替えしやすいのですが、その前に自治会長の皆さんにお話もさせていただきたいと考えておりました、新年度の連合会総会でお話しさせて頂いて5月・6月になるのかわかりませんが、まずは自治会長さんにお話をさせていただいたあとでと考えております。

門 協 会 長 それでは参ります。他にありますか。

村 山 委 員 5月以降になる可能性になると市民福祉課の職員はいなくなるのですか。それとも本所の市民福祉課職員が対応するのでしょうか。5:15からの平田総合支所の夜間受付の窓口対応についてです。

門 協 会 長 はい、事務局をお願いします。

池田支所長 対応しているのは、警備員の方です。

村 山 委 員 出勤して対応するのは、どこの職員ですか。平田総合支所の職員ですか。

池田支所長 平田総合支所も、夜間は警備の方が受付しています。そちらのほうに出していただくということになります。

後 藤 委 員 左側の表は今の市民福祉課だから、特に問題はないのですね。

門 協 会 長 村山委員、よろしいですか。

村 山 委 員 はい。

門 協 会 長 ほかにないということであれば、これをもちまして・・・

後 藤 委 員 あと一つ、情報提供だけお聞きしたいのでお願いします。

門 協 会 長 はい、後藤委員どうぞ。

後 藤 委 員 酒田市の空き家管理関係はどのように対応されているのか、かなり効果をもっているとのことですが、基本的に総合支所の窓口になるのか本所の窓口に行ってお相談する形になるのかという確認と、また、どこまでが相談範囲なのかということ。これが第一点です。それから第二点としては、1 2

月の段階で資料を出していただいて、庄内橋の架け替えの情報提供がございました。今現在、工事をしているのが見えますし杭打ちを仮に打っている段階ですけれども、そのもつ意味があるのか庄内橋との関連での工事なのか教えていただければと思います。

門 協 会 長 事務局はご説明をお願いします。

秋 葉 課 長 空き家の管理につきましては、所管課はまちづくり推進課でございますが、松山総合支所のほうでは、地域振興課の地域振興係が対応を致しますのでご相談に応じております。よろしくお願ひいたします。また、ご相談内容としましては、誰も住んでいないということであれば不動産会社に紹介をしたり、解体してはいかがでしょうかというような相談もさせていただいているところです。まずは解体するのが一番いいのかなと相談をさせていただいておりますが、財政的な面もあってなかなか簡単にはいかないことでもあります。それでも、いろいろな面でできることもあろうかと思ひます。支所のほうでも相談に応じますのでよろしくお願ひいたします。

後 藤 委 員 最上川河川の杭うちは橋梁工事のものか。

大 淵 課 長 工事ということについてはありますが、橋梁工事8基のうち今年度工事にある個所の工事の杭ということです。

門 協 会 長 はい、他に何かありますか。無いようであれば、これで第5回松山地域協議会を終了致します。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

5 そ の 他

秋 葉 課 長 すみません、最後に一点だけございます。委員の皆さんの今期の委員報酬を2月26日にそれぞれご指定の口座に振り込み致しますのでよろしくお願ひ致します。本日はありがとうございました。

6 閉 会

平成26年2月18日

地域協議会会長

地域協議会委員